

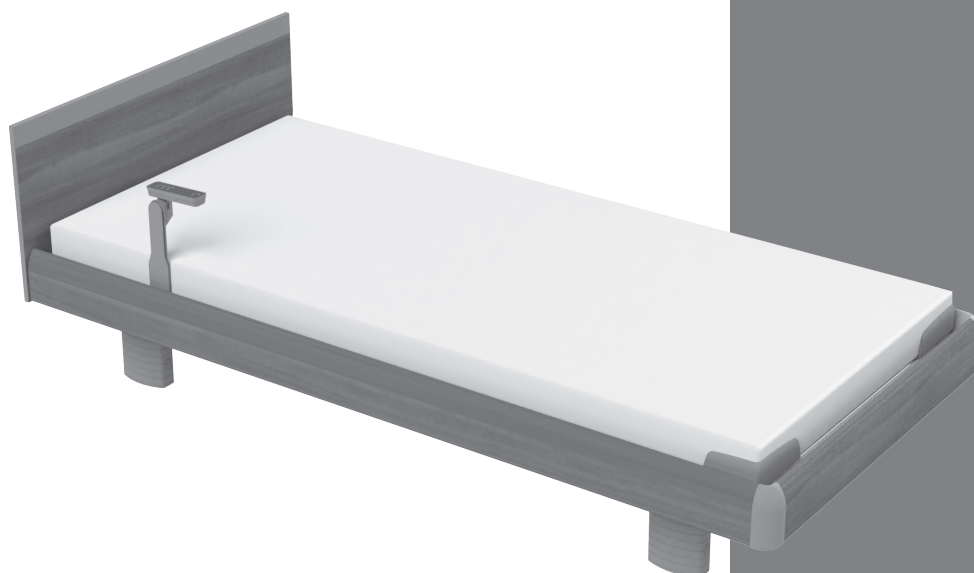
取扱説明書

保証書付



PARAMOUNT BED

Active Sleepシリーズ RA-C1/C2モデル



お客様が知りたい内容・項目を簡単に探すことができるように二通りの方法をご用意しています。

ベッド各部位置から探す ➡ 2 ページ

各シチュエーションから探す ➡ 3 ページ

各部の名称 2

使用前の確認と準備 5

操作のしかた 16

オプション 33

困ったときは 49

こんなときは 56

組立・分解方法 61

アフターサービス 132

7F13126400A0

パラマウントベッド株式会社

緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトム・膝ボトム（乾電池使用時のみ）をさげることができます。

⚠ 注意

ベッドに人が乗っていないことを確認してから作業を始めてください。はさまれて、けがをするおそれがあります。

Note

停電以外の理由でボトムがさげられなくなった場合は、「故障かな？と思ったら」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

参照先

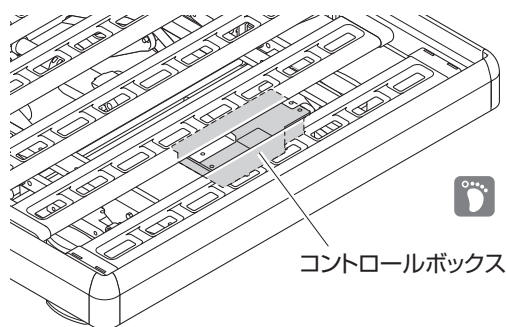
- ・故障かな？と思ったら ➡ 54 ページ
- ・パラテクノコールセンター ➡ 132 ページ

電動（乾電池使用）による背・膝ボトムのさげかた

コントロールボックスに乾電池をセットすることで、停電時でも電動で背・膝ボトムをさげることができます。

乾電池はお客様自身で用意してください。

使用する乾電池：角型 9V アルカリ乾電池 2 個

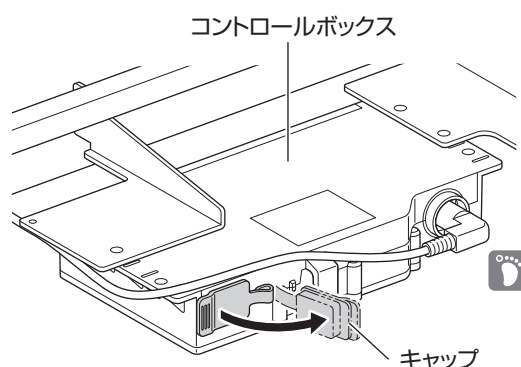


Note

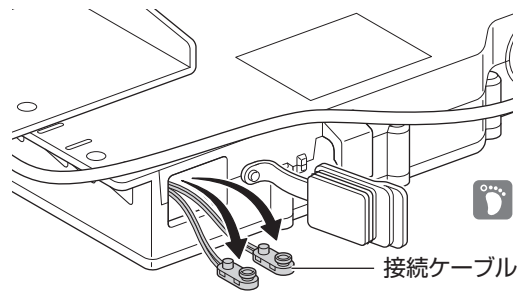
- ・新品のアルカリ乾電池をご用意ください。消耗している乾電池の場合、動作できないおそれがあります。
- ・背あげ、膝あげ、高さ動作は乾電池による動作の対象外です。ボタンの押し間違いにご注意ください。
- ・乾電池使用時は USB ポートに接続している機器は充電できません。
- ・手元スイッチ以外の機器は乾電池による動作の対象外です。

背・膝ボトムのさげかた

1. コントロールボックス足側にあるキャップを開ける。



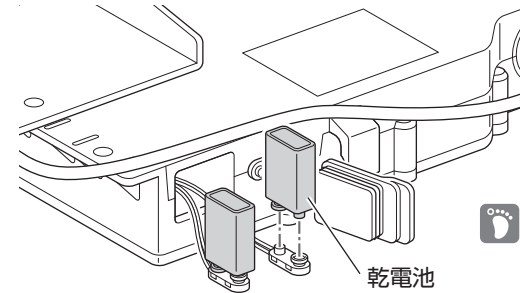
2. 接続ケーブルを引き出す。



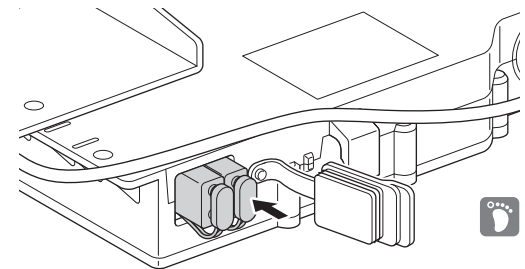
3. 乾電池を接続ケーブルに取り付ける。

Note

乾電池が外れないようにしっかりと取り付けてください。



4. 乾電池を収納する。



5. 手元スイッチを操作して、ベッドをフラット状態にする。

参照先

操作のしかた ➡ 20・26 ページ

6. 乾電池を取り外す。
逆の手順で乾電池を取り外し、キャップを閉じてください。

Note

乾電池を接続ケーブルに付けたままにしないでください。劣化して液漏れで汚れるおそれがあります。

緊急時のベッド操作のしかた

手動での背さげのしかた / 戻しかた

乾電池を用意できなかった場合は、手動で背さげを行ってください。

注意

作業は2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

使用する工具

ペンチ・プライヤー（小）

背さげのしかた

1. ベッドの電源プラグを、コンセントから抜く。
2. ヘッドボードを取り外す。

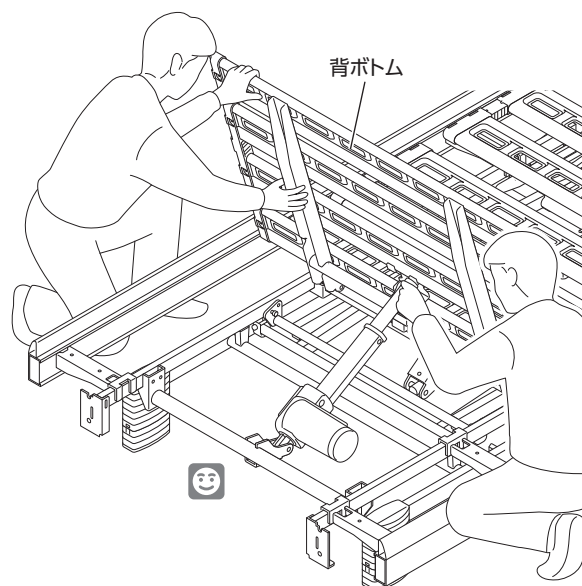
参照先

ヘッドボードの取り外し → 120 ページ

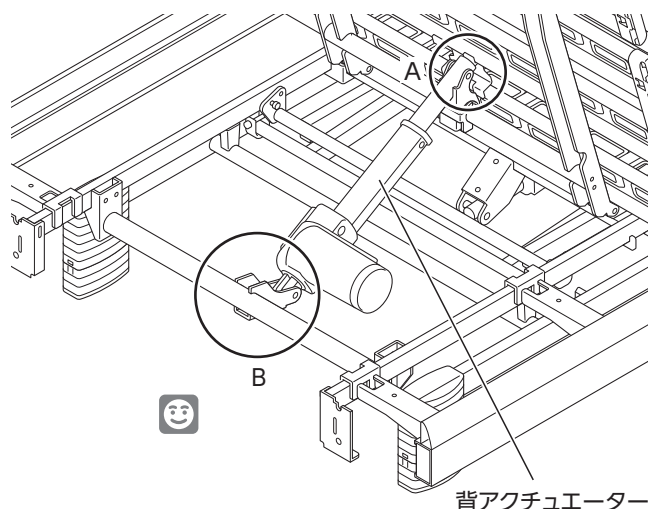
3. 背ボトムを支える。

警告

背ボトムをしっかり持ってください。
背ボトムがさがり、けがをするおそれがあります。



4. A のスナップピンを取り外す。
5. 背アクチュエーターを手で支えながら、A の連結ピンを取り外す。



拡大図

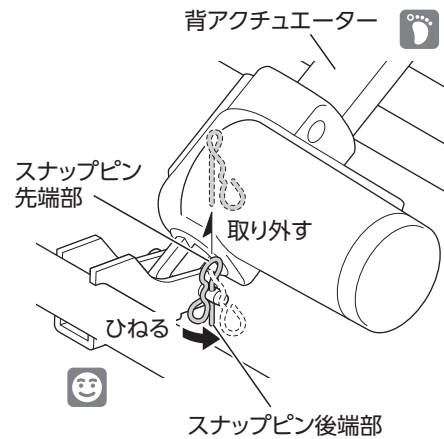


6. B のスナップピンを取り外す。

- (1) スナップピンを、図の方向にひねる。
- (2) 背アクチュエーターを手で支えながら、スナップピンの後端部を押して抜く。

Note

ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取り外しが容易です。

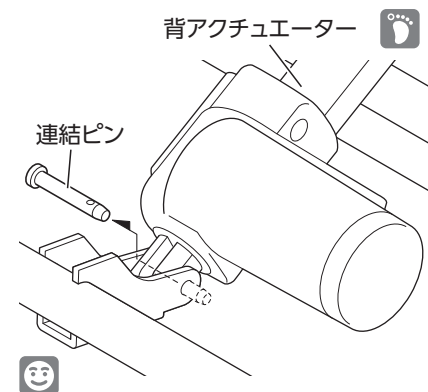


7. 背アクチュエーターを支えながら B の連結ピンを取り外す。

背ボトムが自由に動きます。

Note

取り外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



8. 背ボトムをゆっくり降ろす。

9. ヘッドボードを取り付ける。

参照先

ヘッドボードの取り付け ➡ 101 ページ

Note

停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

緊急時のベッド操作のしかた

戻しかた

停電時に手動で背さげを行った場合は、電源の復帰後、「手動での背さげのしかた」の手順を逆に行ってベッドを元の状態に戻した後、「組立後の点検」に従って点検を行ってください。

Note

連結ピンは、手動で背さげしたときに取り外したものを使用してください。

注意

スナップピンは、再利用しないでください。ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピンは、パラテクノコールセンターまでご依頼ください。

参照先

- ・手動での背さげのしかた ➡ 51 ページ
- ・組立後の点検 ➡ 114 ページ
- ・パラテクノコールセンター ➡ 132 ページ

スマートハンドル（NN-2000：別売）について

スマートハンドル（NN-2000：別売）で、「背あげ／背さげ」「膝あげ／膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。

Note

ベッドの故障状況によっては、操作ができない場合があります。

注意

スマートハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。操作中にベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

Note

詳細な取り扱いは、スマートハンドルに添付されている取扱説明書をご覧ください。